OUTSIDE REVIEW

先駆者

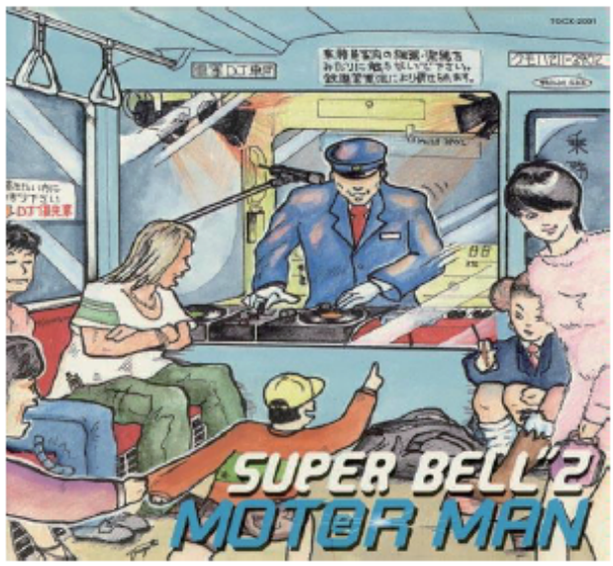
PIONEER

利根川を超えて、国力を支えた伝説のランナー
わたしの名前は、特急カメ号

軍需輸送を目的として熊谷と太田は鉄道で結ばれる予定でした。太田市にある富士重工業の前身は中島飛行機。零式艦上戦闘機を製造し、日本の軍備において重要な拠点でした。突貫工事中に終戦を迎えその役割を終えるのですが、ネーミングがつけられる位、人々に愛された列車でもありました。名前の由来にもある通り、とにかく遅い。時速にして 25km。走った方が早いとも言われたそうです。今でも幻の路線の足跡は、亀の道として熊谷各所で見つける事ができます。当の本人は熊谷市立妻沼展示館で待機中 !? 連絡待ちと言うか、アンコール待ちです。もう一度僕らの夢を乗せて走ってほしい。復活したら素敵ですよね。

事実

FACT



く、く、く、く、まがやです。

「あ、あ、あ、あ、きはばらです」
「ドア、ドア、ドア、ドア、閉まります」
誰もがこのフレーズを一度は聞いた事があると思います。
鉄道の車内放送をテクノポップにのせ一世を風靡した SUPER BELL”Z「車掌 DJ」あるいは「モーターマン」として記憶されてた方が多いと思います。その車掌 DJ である野月氏が一時期熊谷に在住していたとの事。メンバーには熊谷出身の方もいます。隠れ鉄道タウンの魅力をいちはやく感じていたかもしれないですね。熊谷でインスピレーションを受けて何かが創られる、これからそんな事があるかもしれないです。

10 OUTSIDEREVIEW

2013.OCT

造形美

OBJECT

熊谷で日本のルーツ『デゴイチ』を特等席で鑑賞する。

鉄道ファンでなくしても知っているであろう有名すぎる蒸気機関車。
通称『D-51』。激動の昭和を縁の下で支えた名車です。その性能もさる事ながら、人々に愛される理由は無骨で男気なデザインにある。私たちは知らず知らずに電車というアイコンを、この『デゴイチ』で認識していたんですね。鑑賞した後は実際に乗車する。21 世紀を走る唯一の C58 形、パレオエクスプレス。たまには感情のシフトをニュートラルに入れて、童心にかえってみませんか？それは全て熊谷でできるんです。

キャラクター

CHARACTER

©beARcaNlon

今年で 25 歳。まだまだわかいもんには負けないよ。

今回電車をキーワードに熊谷の魅力をお届けいたしましたがいかがだったでしょうか？紅葉の秋は目前。SL で長瀞の紅葉を観に行く事ができる。日本人の特権です。その蒸気機関車パレオエクスプレス。実は、昭和 63 年「さいたま博覧会」の開催にともない復活しました。そしてわたくし、「さいたま博覧会」の開催にともない誕生しました。今年で 25 歳。最近、歳よりも若くみられるんです。やっぱりいいデザインは、年を重ねても新しい。全力で応援します。
がんばれ、Re: さいたーマン !!

4 ♥

4 ♥

4

OUTSIDEREVIEW

感度の別アングルを発信する

communication seeds

2013.10-Lot.No.4

BEARCANION PUBLISHER